株式会社エフエム山口

「民間放送ガバナンス指針」への取り組み

＜はじめに＞

当社は、山口県に根ざしたFMラジオ放送局として、公共性と高い倫理観のもと、持続可能な地域社会の発展に貢献することを使命とし、「民間放送ガバナンス指針」（以下「本指針」）に基づき、「1.公共性の発揮」「2.人権尊重の徹底」「3.法令や社会規範の遵守」「4.透明性の向上」「5.適切な経営体制の確立」の5項目を基本方針として、社会的責任を果たす企業経営と放送活動を推進します。

1.公共性の発揮

(1)企業理念

当社は、公共の福祉の増進、文化の向上、産業・経済の発展に貢献し、平和で豊かな地域社会の実現に寄与することを最大目標に掲げ、公共性を発揮するために、Philosophy（企業理念）、Mission（使命）、Vision（目指す姿）、Value（行動原則）を次のとおり定めています。

Philosophy （企業理念）	音と言葉でつなぐ。真心でつながる。山口の未来をともに創る。 私たちは、確かな情報と心豊かなエンタテイメントを通じて、 人と人、人と地域を結び、つなげます。 山口の魅力と可能性を広く発信し、県民の暮らしに寄り添いながら、 持続可能で活力ある地域社会の実現に貢献します。
Mission （使命）	山口の情報を大切にし県民に届け、山口の価値を高める。 私たちは、地域の出来事、人々の想い、文化を発信し、 県民とともに地域の未来と価値を創造します。
Vision （目指す姿）	山口で最も信頼され、最も愛される地域メディアへ。 私たちは、ラジオ放送のみならず、イベント等を通じて、 地域の交流を育み、新たな価値と活力の創造を目指します。
Value （行動原則）	地域第一、信頼ある発信、挑戦と創造、未来への貢献。 私たちは、常に山口県民の視点に立ち、正確で公正な情報を届けるとともに、 新たな企画やサービスへの挑戦を続け、次世代に誇れる地域づくりに力を尽くします。

(2)自社制作番組

自社制作番組を通じ、県民の「知る権利」に応え、地域の活性化に貢献いたします。

＜平日生放送ワイド番組＞		
番組名	放送枠	番組ウェブサイト
SPARKIN’ MORNING	（月～金）　07:30～11:00	https://www.fmy.co.jp/prg/spa-top/
COZINESS	（月～木）　15:00～18:55	https://www.fmy.co.jp/prg/coz-top/

＜平日生放送ワイド番組＞			
番組名	放送枠		番組ウェブサイト
スポ天！やまぐち	（金）	13:30～14:55	https://www.fmy.co.jp/prg/spoten-top/
Love&Peace Radio Show Someday	（金）	15:00～18:55	https://www.fmy.co.jp/prg/someday-top/
「COZINESS」と「Someday」は当社が山口市より運営管理を受託している新山口駅北口駅前広場のサテライトスタジオ「0スタジオ」からの公開生放送を実施し、県央部や新山口駅周辺の賑わい創出に取り組んでいます。			
＜主な録音番組＞			
番組名	放送枠		番組ウェブサイト
madapana	（金）	11:30～11:55	https://www.fmy.co.jp/prg/madapana-top/
あ・うんな関係	（土）	12:00～12:30	https://www.fmy.co.jp/prg/aun-top/
FMY Homeroom Radio	（土）	19:00～19:55	https://www.fmy.co.jp/prg/homeroom-top/
THE mouVement	（日）	19:00～19:55	https://www.fmy.co.jp/prg/mouvement-top/

（3）公共性に資する活動＜音楽文化事業＞

山口県の音楽文化の振興を目的に、各種コンサートを主催・後援しています。
令和7年度（2025年度）の実績は次のとおりです。

公演名	開催日	会場	種別
高橋優 LIVE TOUR 2025 「ARE YOU HAPPY?」	4月 5日（土）	山口市民会館	名義主催
WANIMA Sorry Not Sorry TOUR	4月 9日（水）	KDDI維新ホール	名義主催
ゴスペラーズ坂ツアー2025“G30”	6月15日（日）	三友サルビアホール	名義主催
WILD BUNCH FEST.2025	8月22日（金） ～8月24日（日）	山口きらら博記念公園	名義主催
久保田利伸 40th Anniversary Tour2025-26 『Big up!』	10月10日（金）	周南市文化会館	名義主催
絢香Wonder!Tour2025	11月30日（日）	KDDI維新ホール	名義主催
エフエム山口開局40周年記念 ウルフルズライブツアー2025-2026 ツーツーウラウラツー シーズン2	2026年 2月15日（日）	山口市民会館	自主興行
財津和夫『トークと歌のプレゼント』	2026年 3月7日（土）	三友サルビアホール	名義主催

（4）公共性に資する活動＜後援承認＞

山口県の地域文の振興を目的に、県民活動への後援承認を積極的に行うとともに、広報活動を通じてその周知を支援しています。令和7年度（2025年度）の実績は次のとおりです。

ミヤタコーヘイ・江口寛至コンサート、防府市青少年科学館ソラール特別展「自然現象のメカニズム展」、 山口県統計グラフコンクール、山口大学管弦楽団 山口大学医・工学部管弦楽団合同演奏会、

防府フィルハーモニーオーケストラ第7回定期演奏会、ありがとうノート×イタコト展、
コーヒーを楽しみながら手紙を書こう、山口大学マンドリンクラブ2025Spring Concert、宇部進県下一斉テスト、
第53回市民夏季大学（光市）、犯罪被害者支援公開講座、「ごはんといのちのストーリー展」岩国展、
直木賞作家安部龍太郎後援会、音楽劇「ハイニコポン」～ファインダー越しの真実～、
瀬戸内デザイングランプリ2025、アビリンピックやまぐち2025、萩博物館特別展「絶滅動物展」、
BBQリレーマラソンin宇部ときわ公園2025、第58回豊田のホタル祭り、第26回スタジオパッションライブ、
山口県立博物館特別展「山陽新幹線50年展」、宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカーin山陽小野田、
第9回山口きーさん亭落語会立川談州、第30回山口矯正展、山口県交響楽団創設70周年記念演奏会、
山口オペラアカデミー夏季声楽セミナー、JAZZコンサートin美祢2025、第3回山口国際ダンスコンペティション、
ジュゲムなふたり～三遊亭ごはんつぶ・桂銀治落語会、長門ヨットフェスタ2025、ニジフラナイト＆マーケット、
Hair Make Live2025、B-nus Jazz Orchestra 2nd Recital、第14回結人祭、山口県医師会県民公開講座、
令和7年度犯罪被害者週間in宇部、特別対談 高瀬泉＋大藪順子「性犯罪被害後の人生に希望の光を」
下関きずな音楽祭Vol.5、UBE現代日本彫刻展2027応募模型展、県民公開講座ピンクリボンinやまぐち2025、
第18回UBEクラシックコンサート、山口大学医学部軽音楽部Latin Echoes秋期定期演奏会。
山口大学管弦楽団第68回定期演奏会、萩博物館企画展「萩に鉄道がやってきた！」、山口大学医学祭、
第10回山口きーさん亭落語会、リルレイダンススタジオライブVol.24、第29回定期公演 幕末白雪姫伝、
スポーツコミッションフェスタ2025～健康スポーツの祭典～、クリスマスオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、
山口大学医・工学部管弦楽団第62回定期演奏会、第13回県民公開講座「笑って学ぼう！食と健康」、
萌えサミットinやまぐち市、山口大学マンドリンクラブ第66回定期演奏会、笑いでつながる落語会、
椹野川楽しもう守ろう釣り大会、山口大学文化会邦楽部第57回邦楽演奏会、第11回山口きーさん亭落語会、
防府市青少年科学館ソラール企画展「音のサイエンス展～不思議で楽しい音戯の世界から」、いもフェス山口、
令和7年度「介護の日」記念イベント「リカバリー」～希望の先へ～、TOKIWAファンタジア2025、
ヨシタケシンスケ展かもしれない、クリスマスキャンドルフェスタIN久賀、山口大学混声合唱団第53回定期演奏会、
第28回山口大学文化会吹奏学部定期演奏会、萩博物館冬期新収蔵品展「明治時代の人と書」、
2025グリーンコープオータムフェスタ、第11回サザン・セト大島高校サッカーフェスティバル 等

（5）公共性に資する活動＜メディアリテラシー向上＞

主に中学生のメディアリテラシー向上に資するため、スタジオ見学やCM制作などの職場体験を受け入れています。令和7年度（2025年度）の実績は、次のとおりです。

受け入れ月日	学校名	人数	研修内容
5月22日（木）	山口市立大内中学校	2名	生放送見学、CM制作体験
5月28日（水）	山口市立平川中学校	4名	〃

（6）公共性に資する活動＜山口タレント図鑑＞

山口県内の文化芸術・エンターテイメント活動の振興とフリーランス・タレントの活躍機会の創出を目的として、コーポレートサイト内に「山口タレント図鑑」を開設しています。

出演を希望する行政機関、広告代理店、イベント会社などとのマッチングを行い、地域で活躍する人材の発掘・支援に取り組んでいます。

令和7年度（2025年度）末時点の登録者総数は156名です。

【参考】

山口タレント図鑑：https://ytz.fmy.co.jp/

2.人権尊重の徹底

(1)人権方針

当社は、電波法および放送法に基づく特定地上基幹放送事業者として、放送事業はもとより、あらゆる企業活動において、すべての人の尊厳と基本的人権を尊重し、差別のない、誰もが夢や希望を持てる持続可能な社会の実現に貢献することを目的として、「エフエム山口人権方針」(以下「本方針」)を定め、人権尊重の取り組みを推進しています。

① 国際基準の尊重

当社は、国連の「国際人権章典」や国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」など、国際的に認められた人権基準を支持し、これを尊重します。
また、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、事業活動を通じて人権尊重の責任を果たします。

② 適用範囲

本方針は、当社のすべての役員および従業員(正社員、嘱託社員、契約社員等を含む)に適用するとともに、番組出演者、広告主、取引先など、すべてのステークホルダーに対しても、本方針に基づく人権尊重への理解と実践を期待します。

③ 放送事業者としての責任

当社は、表現の自由および報道の自由を堅持するとともに、国民共有の財産である電波を預かる放送事業者としての社会的責任を深く認識し、次の取り組みを着実に実践します。

差別のない表現

人種、民族、国籍、宗教、性別、年齢、障がいの有無、性的指向、性自認などを理由とするあらゆる差別や偏見を助長する表現や人権侵害を許容せず、一切を排除します。

プライバシーの保護

番組制作および取材において、個人のプライバシー、名誉および尊厳を尊重し、これらを不当に侵害することのないよう、高い倫理観を持って行動します。

誹謗中傷対策

聴取者や出演者を含め、インターネット上のSNSにおける誹謗中傷行為やハラスメントの防止と根絶に向けた取り組みを推進します。

多様性の尊重・推進

地域社会に存在する多様な価値観を尊重し、多角的な視点に立った公平・公正な情報発信に努めます。

④ 健全な職場環境の維持と整備

当社は、ともに働くすべての人の人権を尊重し、一人ひとりが安心して能力を発揮できる職場環境の実現に努めます。

差 別 の 排 除

採用・雇用および職場において、あらゆる差別を排除するとともに、多様な人材が能力を十分発揮できる公平で平等な機会を提供します。

ハラスメントの根絶

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント、カスタマーハラスメントなど、個人の尊厳を傷つけるあらゆるハラスメントの根絶を徹底します。

労 働 環 境 の 整 備

強制労働および児童労働を一切認めず、適正な労働時間の管理に努めるとともに、従業員の心身の健康と安全の確保に取り組みます。

(2)人権に対する取り組みの実施体制

当社は、本方針に基づき、人権デュー・デリジェンスの仕組みを構築し、継続的かつ適切に運用します。

また、相談・通報窓口を業務管理部に設置し、当社の事業活動が人権への負の影響を引き起こした、あるいはこれに関与したことが明らかになった場合は、適切かつ速やかに救済および是正・改善措置を講じます。

(3)人権に対する教育

当社は、本方針が日常業務において十分に理解され、適切に実践されるよう、すべての役員および従業員に対し、定期的かつ適切な教育・研修を実施します。

3.法令や社会規範の遵守

(1)コーポレート・ガバナンス

当社は、電波法および放送法に定める特定地上基幹放送事業者として、公共の福祉に資する健全な放送および事業活動を遂行します。

法令および社会規範を遵守するとともに、すべてのステークホルダーとの信頼関係の構築に努め、持続可能で豊かな地域社会の実現に貢献します。

また、健全で透明性の高い経営を推進し、企業価値および地域における存在価値の向上を図るとともに、説明責任を果たし、企業価値を高めることをコーポレート・ガバナンスの基本方針とします。

(2)放送倫理の徹底

当社は、公共の福祉に資する健全な放送を通じて、地域経済の活性化と文化の向上に寄与することを使命としています。

この使命を果たすため、「日本民間放送連盟放送基準」に準拠した番組基準を策定し、健全な社会の形成と県民の知識・教養の向上に寄与する番組づくりに努めています。

また、番組およびCMの適法性・倫理性を確保するため、考査を行い、放送内容の厳格な管理を徹底しています。

【参考】

番組基準：https://www.fmy.co.jp/kijyun/

(3)個人情報保護方針

当社は、すべての人の個人情報およびプライバシーを適切に保護し、個人の権利および利益を守るため、「個人情報保護方針」を定め、これに基づき個人情報を適切に取り扱うとともに、放送および事業活動を行っています。

【参考】

個人情報保護方針：https://www.fmy.co.jp/policy/

4.透明性の向上

当社は、社会全体がステークホルダーであるという放送事業の公共性を踏まえ、企業経営に関する情報を積極的に開示し、経営の透明性を高めます。

また、聴取者をはじめとする幅広いステークホルダーの価値観との対話を重視し、その価値観や期待を真摯に受け止め、自律した経営が独善に陥ることがないよう、地域に開かれた企業であり続けます。

これらの取り組みを具体化するため、日本民間放送連盟作成の統一フォーマットに基づき、必要な情報を適切に開示します。

(1)企業理念(再掲)

当社は、公共の福祉の増進、文化の向上、産業・経済の発展に貢献し、平和で豊かな地域社会の実現に寄与することを最大目標に掲げ、公共性を発揮するために、Philosophy(企業理念)、Mission(使命)、Vision(目指す姿)、Value(行動原則)を次のとおり定めています。

Philosophy (企業理念)	音と言葉でつなぐ。真心でつながる。山口の未来をともに創る。 私たちは、確かな情報と心豊かなエンタテイメントを通じて、 人と人、人と地域を結び、つなげます。 山口の魅力と可能性を広く発信し、県民の暮らしに寄り添いながら、 持続可能で活力ある地域社会の実現に貢献します。
Mission (使命)	山口の情報を大切にし県民に届け、山口の価値を高める。 私たちは、地域の出来事、人々の想い、文化を発信し、 県民とともに地域の未来と価値を創造します。
Vision (目指す姿)	山口で最も信頼され、最も愛される地域メディアへ。 私たちは、ラジオ放送のみならず、イベントなどを通じて、 地域の交流を育み、新たな価値と活力の創造を目指します。
Value (行動原則)	地域第一、信頼ある発信、挑戦と創造、未来への貢献。 私たちは、常に山口県民の視点に立ち、正確で公正な情報を届けるとともに、 新たな企画やサービスへの挑戦を続け、次世代に誇れる地域づくりに力を尽くします。

(2)資本構成

資本金	99,000,000円	発行済株式総数	9,900株

【令和8年(2026年)10月1日時点】

(3)主要株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資の有無	
	持ち株数	議決権比率		
山口県	990株	10.00%	無	(-)
株式会社ジャパンエフエムネットワーク	953株	9.62%	有	50株(0.62%)

テレビ山口株式会社	655株	6.62%	無	(-)
山口放送株式会社	556株	5.62%	無	(-)
株式会社読売新聞大阪本社	556株	5.62%	無	(-)
株式会社中国新聞社	457株	4.62%	無	(-)
株式会社広島東洋カープ	457株	4.62%	無	(-)
UBE株式会社	408株	4.12%	無	(-)
株式会社トクヤマ	358株	3.62%	無	(-)
関門港湾建設株式会社	358株	3.62%	無	(-)
備考	※1/10を超える議決権を有する株主は存在しません(総株主数:44名)。			

【令和8年(2026年)10月1日時点】

(4)役員構成

当社の役員は現在、取締役10名、監査役1名で構成しており、任期は取締役が2年、監査役が4年です。
令和8年(2026年)6月30日に開催した第41回定時株主総会では、取締役の改選を行いました。
監査役は任期中のため改選はありませんでしたが、1名が同年9月30日付で辞任により退任したことから、現在の監査役は1名となっています。

地位	氏名	常勤/社外	担当または主な兼職
代表取締役	藤井　正史	常勤	経営全般
取締役	御前　信幸	常勤	営業部長兼東京支社長(委嘱)
取締役	宇和島正美	社外	㈱みなと山口合同新聞社監査役
取締役	河端　英俊	社外	㈱ジャパンエフエムネットワーク営業企画部長
取締役	久保木　要	社外	㈱中国新聞社防長本社代表
取締役	﨑村　健二	社外	㈱トクヤマ 徳山製造所副所長
取締役	髙瀬　　太	社外	UBE㈱常務執行役員
取締役	林　　延吉	社外	山口放送㈱代表取締役会長
取締役	藤井　将志	社外	山口県総合企画部長
取締役	松本　友一	社外	㈱読売新聞東京本社 メディア局ネットワーク戦略委員会事務局次長
監査役	小池　政弘	社外	㈱山口銀行専務執行役員山口支店長

【令和8年(2026年)10月1日時点】

(5)役職員数

属性	総人数	性別	人数	比率	備考
役員	11	男性	11	100%	※取締役10名、監査役1名です。
		女性	0	0%	
職員	18	男性	11	61%	※嘱託・契約社員、デスクアルバイトを含みます。
		女性	7	39%	

【令和8年(2026年)10月1日時点】

(6)放送番組審議会

当社は、放送法第6条に基づき、放送番組の適正を確保するため、放送番組審議会を原則として毎月1回(10回/休会月あり)開催しています。

議事録は総務大臣に提出するとともに、審議内容(抜粋)を当社のコーポレートサイトで公表しています。

【参考】

放送番組審議会: https://www.fmy.co.jp/report/

放送番組審議会メンバー			
地位	氏名	性別	主な職業
委員長	森脇　直樹	男性	㈱みなと山口合同新聞社 山口新聞 山口支社 支社長
委員	石川　映子	女性	山口市総合政策部参事 兼 広報広聴課 課長
委員	歌房由香里	女性	中国電力㈱山口支社 広報グループマネージャー
委員	河村　唯志	男性	㈱西京銀行取締役山口地区統括部長 兼 山口支店長
委員	中野　志保	女性	日本ジョイントソリューションズ㈱Webディレクター

【令和8年(2026年)10月1日時点】

番組基準および放送番組の編集については、日本民間放送連盟放送基準に準拠しています。

また、同放送基準が改正される際には、放送番組審議会に諮問しています。

令和7年度(2025年度)は、改正はありませんでした。

(7)自社批評番組

放送番組審議会開催月の翌月の第2木曜日 5時28分30秒から1分30秒間、「エフエム山口からのお知らせ」として放送しています。

(8)番組や放送内容へのご意見・お問合せの受付

当社は、幅広いステークホルダーとの対話を重視するとの考えのもと、コーポレートサイト内に番組や放送内容に関するご意見・お問合せを受け付ける専用フォームを設置しています。

寄せられたご意見・お問合せは、一方的な誹謗中傷などを除き、真摯に受け止め、可能な限り迅速かつ誠実に対応しています。

なお、令和7年度(2025年度)は、当該フォームに寄せられたご意見を起点として改訂または訂正した番組などはありませんでした。

【参考】

お問合せフォーム: https://www.fmy.co.jp/contactus/

(9)財務諸表

第41期 25.4.1～26.3.31☒ （決算期：3月）

貸借対照表

【令和8年（2026）3月31日現在】

（単位：千円）

資産の部		
流動資産		273,569
固定資産		315,053
繰延資産		1,773
資産合計		590,397
負債の部		
流動負債		64,196
固定負債		207,699
負債合計		271,895
純資産の部		
株主資本		317,548
	資本金	99,000
	資本剰余金	332,931
	利益剰余金	△114,382
評価・換算差額等		952
純資産合計		318,501
負債・純資産合計		590,397

損益計算書

【自 令和7年（2025）4月1日～至 令和8年（2026）3月31日】

（単位：千円）

売上高	460,610
営業損益	△17,975
経常損益	△16,985
税引前当期純損益	△19,527
当期純損益	△20,165

5.適切な経営体制の確立

(1)取締役会運営

取締役会は、株主からの負託に応えるため、適切な事業運営が行われるよう業務執行を監督する機関であるとの認識のもと、当社は会社法に則り、適正に取締役会を開催しています。

取締役会では、代表取締役および常勤取締役が業務執行状況を報告するとともに、重要事項について審議・決議を行っています。

また、開催日の1週間前までに議事次第および議案資料を送付し、取締役が十分な検討時間を確保できるよう努めています。

これにより、円滑な議事運営と取締役会の実効性の確保を図っています。

令和7年度(2025年度)の開催状況は、次のとおりです。

開催日時		取締役会名	出席率
令和7年(2025年)	5月　30日（金)14時～	第164回取締役会	73%
	6月　23日（月)14時～	第165回取締役会	71%
	12月　 1日（月)14時～	第166回取締役会	69%
令和8年(2026年)	3月　 2日（月)14時～	第167回取締役会	77%

(2)コンプライアンス・ガバナンスに関する重大事案への対応

当社においては、昭和60年(1985年)の開局以来、人権侵害や個人情報の漏えいなど、コンプライアンスおよびガバナンスに関する不適切な事案は確認されておりません。

万一、そのような事案が発生した場合には、業務管理部を主管部署として、事実関係を速やかに把握するとともに、適時・適切な情報開示および再発防止を含めた必要な対応を行う体制を整備しています。

＜結びに＞

当社は、民間放送事業者の一員として、民間放送の持続可能性の向上に努めるとともに、ガバナンス体制の継続的な整備・強化を図り、説明責任および適切な情報開示を果たすことで、聴取者・株主・広告主や取引先・地域社会をはじめとするステークホルダーとの信頼の醸成に努めてまいります。

また、本指針の適用状況については、自主的に点検を実施し、取締役会の承認を経たうえで、毎年度1回内容を更新・公表いたします。

令和8年度(2026年度)の適用状況の点検結果については、令和9年(2027年)7月1日に公表する予定です。